



平成 28 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 日本航空電子工業株式会社
代表者名 社 長 小野原 勉
(コード番号 6807 東証第一部)
問合せ先 経理部長 青木 和彦
(TEL 03-3780-2752)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 28 日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値の修正について

平成 28 年 3 月期 通期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	203,000	27,000	24,000	17,000	187.19
今 回 修 正 予 想 (B)	179,000	17,600	16,700	12,500	137.60
増 減 額 (B-A)	△ 24,000	△ 9,400	△ 7,300	△ 4,500	
増 減 率 (%)	△ 11.8%	△ 34.8%	△ 30.4%	△ 26.5%	
(ご参考) 前期連結実績 (平成27年3月期)	191,155	25,851	23,154	15,764	173.64

2. 修正の理由

当社を取り巻く事業環境は第 2 四半期までは概ね堅調に推移しましたが、第 3 四半期に入り、中国経済の減速や世界的な原油価格下落の影響を受け、スマートフォン市場の成長鈍化や産業機器市場の低迷が顕著になり、当社においても中国・アジア地域向けスマートフォン用コネクタ、国内向け産機・インフラ市場用コネクタ、欧米地域向け油田掘削製品等の受注・売上の伸びが停滞いたしました。

さらに第 4 四半期の事業環境は、円高傾向や更なる原油安懸念など、より一層厳しさが増すことが予想されることに加え、携帯機器分野において当社の主要顧客における所要の減少が予測されることから、通期の業績予想を上記の通り修正いたしました。

なお、当社は携帯機器、自動車、産機・インフラの 3 市場に注力し、グローバルマーケティングと新製品開発活動の展開、内製化・自動化への取り組みを強化しております。現在も携帯機器分野におけるスマートフォン用コネクタの新製品や次世代のインターフェースである USB Type-C コネクタの先行開発、車載デジタルカメラ用コネクタをはじめ自動車分野で今後拡大が期待される自動運転支援システム (ADAS) 用コネクタの先行開発など、新製品開発や生産体制構築に向けた積極投資を進めており、これらを来期ならびに将来の成長に結びつけてまいります。

以 上